

当院食道外科で 2010 年 1 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までに食道癌根治術を受けられた
食道癌患者さんへ 研究協力をお願い

研究課題名：食道癌根治術におけるアプローチ別による短期および長期成績の比較研究

研究目的：食道癌根治術には開胸手術，胸腔鏡手術，縦隔鏡手術，ロボット支援下手術など様々なアプローチ方法がありますが，最適なものは決まっています。我々は様々なアプローチ方法で手術してきた経験から，本研究では患者さんの併存疾患や体型，進行度などの因子を含めたアプローチ別の治療成績の比較の検討を行います。それによりどのような患者さんにどのアプローチが最適かを明らかにすることを目的とします。

研究内容：当院にて 2010 年 1 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までに食道癌根治術を受けた患者さんの臨床情報（背景因子，術式，手術時間，合併症，進行度，予後など）を再評価します。情報は個人を特定できない形で使用され、プライバシーは保護されます。この研究のために新たな検査を追加することはありません。参照し抽出した情報・記録等は匿名化の下、外部と接続していない当科医局内のハードディスク内に保管し、プライバシーは保護します。研究結果を公表する場合であっても、研究対象者の身元を特定できる情報は保護します。

研究期間：研究実施許可日から 2027 年 8 月 31 日まで

収集された情報・記録等は消化管外科医局にて研究発表後 10 年間保管します。

データの二次利用：この研究で収集された情報・データは本研究の次の段階として行われる将来の研究において活用する場合や，他の研究結果との比較に利用する場合があります。その場には，新たな研究として医学系倫理委員会にて承認された後，対象となる患者さんへ再度告知を行います。

なお，本ポスター掲示後に研究に関してのお問い合わせは，下記研究責任者までご連絡くだ

さい。本研究へのご協力は患者さんの自由意思によります。データの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外しますが、以後の診療に関して不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。また、ご自身の個人情報について開示をご希望される場合にもご連絡ください。

費用負担：本研究に伴い対象患者さんに追加で費用負担がかかることはありません。また、通常の診療の際の費用負担軽減や謝礼などありません。

利益相反：利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見えて生じかねない状態のことを指します。本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。

研究責任者および資料・情報管理責任者：

東京科学大学病院 消化管外科学 講師 藤原尚志

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803- 5254（平日 8:30～17:00）

苦情窓口：東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）